

社会主義文化と身体・伝播・越境

日時：2020年2月22日 (Sat.) 15:00-18:00 *開始時間とプログラムを一部変更しました。

場所：LMJ 東京研修センター3L 会議室 <http://www.lmj-tkc.co.jp/access>

(東京都文京区本郷1-11-14 小倉ビル 本郷三丁目駅 丸の内線② 大江戸線③ 出口 徒歩9分)

*会場はプロジェクター・スクリーン使用可。飲食物持ち込み可。

ゲストスピーカー：

本田晃子 (HONDA Akiko) / 岡山大学社会文化科学研究科 (Okayama University)

アナスタシア・フィオードロワ (FEDOROVA Anastasia) / ロシア・国立研究大学高等
経済学院東洋学・西洋古典学研究所

(National Research University Higher School of Economics (Russia))

タイムテーブル：

15:00 開場

15:10-15:20 趣旨説明

15:20-16:20 本田晃子 (HONDA Akiko)

社会主義リアリズム文化における身体イメージのヒエラルキー

報告30分・質疑応答

16:30-17:30 アナスタシア・フィオードロワ (FEDOROVA Anastasia)

ソビエト初トーキー映画『人生案内』(1931) — その製作と海外進出をめぐる

報告30分・質疑応答

17:30-17:50 総合討論

18:00 退室

司会・進行：

田村容子 (TAMURA Yoko) / 金城学院大学 (Kinjogakuin University)

越野剛 (KOSHINO Go) / 東京大学 (The University of Tokyo)

主催：

JSPS 科研費基盤研究 (B) 18H00660 「社会主義文化と身体イメージ：ユーラシアにおける英雄・女性・死者の表象比較研究」 (研究代表者：田村容子)

JSPS 科研費基盤研究 (B) 19H01248 「社会主義文化のグローバルな伝播と越境 — 「東」の公式文化と「西」の左翼文化」 (研究代表者：越野剛)

